



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号

[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2024年5月23日

報道関係 各位

100%リサイクルアルミ素材をボトルキャップ部分にも導入 アルミ缶の水平リサイクル「CAN to CAN」で CO₂排出量の削減に貢献

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：酒寄正太）は、リサイクルアルミ素材^{※1}を100%使用しているボトル缶胴に加えて、新たにボトルキャップ部分にもリサイクルアルミ素材を導入しましたのでお知らせいたします。

当社における「CAN to CAN」のプロセス



「CAN to CAN」は、プレス加工された使用済みアルミ缶（UBC）から、飲料用アルミ缶原料となるアルミコイルを製造し、100%リサイクルアルミボトルとして再生、当社工場でアルミボトル缶製品の容器に使用するという取り組みです。このたび、開栓性能、密封性能などの機能は従来の規格のまま、キャップ部分にもリサイクルアルミ素材を100%使用したことにより、1缶あたりのCO₂排出削減量が約12%向上し、ボトル缶全体で約37%削減の効果が見込まれます。^{※2}

当社は、アルミ缶の水平リサイクル「CAN to CAN」に取り組むことで2030年までに販売した自社製品と同等量の容器の回収・リサイクルを目指し、国内におけるアルミ缶の循環利用の促進とCO₂排出量の削減に貢献してまいります。

^{※1} 使用済みアルミ缶と、コイルおよびアルミ缶製造時に発生するスクラップで構成される材料（成分調整分を除く）

^{※2} 従来のアルミ地金を使用した400mlアルミボトルの製造工程で発生するCO₂量と比較した場合（サプライヤー調べ）

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：朝日 TEL 011-888-2091